



日本脳神経超音波学会  
平成 24 年度 総会 議事録

\*開催日時:平成 24 年 6 月 29 日(金) 13:00~13:55

\*開催場所:大宮ソニックシティ 4 階 401・402 号室

議長: 峰松一夫 (理事長)

出席者数: 65 名

委任状: 331 名分 (議長:296 名分、会長:20 名分、事務局長:15 名分)

資料:

- ① 平成 23 年度事業報告及び平成 24 年度事業計画
- ② 平成 21 年~23 年の収支バランスに関して
- ③ 日超医との合同開催に関する資料(2 種類)
- ④ ガイドラインに関する資料(2 種類)
- ⑤ 定款

議事内容・決定事項

- 1) 市橋会長より第 31 回学会開催の挨拶があった
- 2) 永田前会長より第 30 回学会報告、決算報告があった
- 3) 木村事務局長より平成 23 年度状況(会員・会費・運営)、会計報告があり承認を得た
- 4) 各委員会報告
  1. 市橋委員長より役員候補選出委員会の報告があった
    - ① 現理事、現評議員の再任を承認した
    - ② 新名誉理事予定者の推薦を承認した(榊寿右先生)
    - ③ 新理事予定者の推薦を承認した(計 6 名)  
(永廣信治、中川正法、長谷川泰弘、鈴木倫保、栗栖薫、豊田一則)
    - ④ 新評議員予定者の推薦を承認した(計 14 名)  
(久保田義則、井上剛、岩永健、鮎川宏之、芝崎謙作、植村順一、上床武史、久米伸治、鈴木理恵子、渡邊雅男、上野祐司、鈴木圭輔、貞廣浩和、三富睦美)
    - ⑤ 重森稔新監事の退任申出に対し、1 期終了時までの就任依頼をする
    - ⑥ 次々々期(第 34 回)学会に京都武田病院脳神経科学診療科部長 塩貝敏之理事を選出した



2. 豊田委員長より在り方委員会の報告があった
  - ① 予算執行に関する提言
    - ・編集委員会、資格認定委員会の活動充実にあてる
  - ② 日超医との関係
    - ・学会合同開催:シンポジウムや研究会の合同開催の可能性を模索する
    - ・ガイドライン:長束理事を窓口とし、進める
3. 松本委員長より法人化員会の報告があった
  - ・目的を達成したので、委員会は解散する
  - ・役員選出方法、定員、特別枠等については、今後在り方委員会と役員選出委員会で継続審議する
4. 藤代委員長と高瀬前委員長より編集委員会の報告があった
  - ① 新旧編集委員長交代のご挨拶
  - ② 平成 23 年度の事業報告と平成 24 年度の事業予定の説明
    - ・機関誌発刊済(2回):23-2/3と24-1、発刊予定(3回):25-1、25-2、25-3
    - ・収支決算、予算 → 承認を得た
  - ③ 平成 23 年度 Neurosonology 最優秀賞受賞者の報告
5. 塩貝委員長より資格認定委員会の報告があった
  - ① 平成 23 年度の事業報告と平成 24 年度の事業予定の説明
    - ・第 3 回一般認定試験の報告(受験者:31名、合格者:28名)
    - ・収支決算、予算 → 承認を得た
  - ② 今後の試験実施について
    - ・第 32 回総会とは別日程、別会場での実施を検討中
6. 塩貝国際担当理事より国際関連事業について説明があった
  - ・海外の関連学会の報告、今後の予定(NSRG,ASN,ESNCH,ISTU,WFN)
- 5) 木村事務局長より平成 24 年度事業予定の説明があり承認を得た
- 6) 高瀬次期会長より第 32 回総会について説明があった
  - ・開催日:平成 25 年 6 月 13 日(木)~15 日(土)(\*13 日はハンズオンセミナー)
  - ・会場:徳島県郷土文化会館(あわぎんホール)
  - ・メインテーマ:「脳神経超音波の今日的評価と明日への課題」
- 7) 寺山次々期会長より第 33 回総会について説明があった
  - ・開催日:平成 26 年 6 月 13 日(金)~14 日(土)
  - ・会場:いわて県民情報交流センター
- 8) 塩貝理事より次々々期会長承諾の表明があった
- 9) 平成 23 年度 Neurosonology 最優秀賞 受賞式がおこなわれた
  - 受賞者:久門良明 先生(愛媛大学医学部 脳神経外科)
  - 代理出席:松本調 先生よりご挨拶(代読)があった